

**内閣府国際平和協力本部事務局主催**  
**第3回国際平和協力シンポジウム**  
 ～我が国の国連PKO参加20周年を迎えての、さらなる国際平和協力分野の人材育成に向けて～

平成24年1月19日（木）13：30～18：15  
 国連大学ビル5階 エリザベス・ローズ・ホール

**プログラム**

	掲載ページ
総合司会：福島安紀子 青山学院大学国際交流共同研究センター研究員	
開会挨拶：羽田浩二 内閣府国際平和協力本部事務局長	1
基調講演：明石 康 スリランカ平和構築及び復旧・復興担当日本政府代表、 財団法人国際文化会館理事長	4
ビデオメッセージ：中満 泉 国連平和維持活動局 政策・評価・訓練部長	9

**セッション1：国際平和協力における民軍連携と人材育成～ハイチの経験から～**

＜パネリスト＞

井出匡則 陸上自衛隊小平学校教官、元ハイチ国際平和協力隊連絡調整要員	14
加藤亜季子 特定非営利活動法人「難民を助ける会」プログラム・コーディネーター	25
長 有紀枝 特定非営利活動法人「難民を助ける会」理事長、立教大学大学院教授	31
佐藤美央 内閣府国際平和協力本部事務局 国際平和協力研究員	37

**セッション2：国連PKOへのより積極的な貢献～幹部人材養成の視点から～**

＜パネリスト＞

長谷川祐弘 法政大学教授、元東ティモール担当国連事務総長特別代表	49
山下真理 国連広報センター所長、元国連ネパール・ミッション (UNMIN) 政務室長	58
石橋克伸 防衛省統合幕僚学校国際平和協力センター長、元ネパール国際平和協力隊員	68

**セッション3：紛争経験国支援への取り組みと人材育成～選挙支援、ジェンダーを例に～**

＜パネリスト＞

栃林昇昌 内閣府国際平和協力本部事務局 国際平和協力研究員	87
与那嶺涼子 内閣府国際平和協力本部事務局 国際平和協力研究員	99
横田洋三 財団法人人権教育啓発推進センター理事長	109

閉会

## 出演者プロフィール

### 総合司会

福島安紀子（ふくしま あきこ）

青山学院大学国際交流共同研究センター研究員

1994年米国ジョーンズ・ホプキンス大学高等国際問題研究大学院(SAIS)より修士号。1997年大阪大学より博士号。総合研究開発機構(NIRA)主席研究員、国際交流基金特別研究員を経て現職。その他、防衛戦略研究会議委員、経済産業省産業構造審議会貿易協力部会委員等を兼務。英国国際戦略問題研究所(IISS)会員。主な著作に *Japanese Foreign Policy: A Logic of Multilateralism*、『レキシコン：アジア太平洋安全保障対話』、『人間の安全保障』等。

### 開会挨拶

羽田浩二（はねだ こうじ）

内閣府国際平和協力本部事務局長

東京大学法学部卒業。1979年4月外務省入省。北米局、経済局、外務大臣秘書官事務取扱、在連合王国日本国大使館一等書記官、在インド日本国大使館参事官等を歴任。2000年4月北米局北米第一課長、2001年11月国際連合日本政府代表部政務公使、2009年7月総合外交政策局審議官（国連担当大使）、2010年8月より現職。

### 基調講演

明石 康（あかし やすし）

スリランカ平和構築及び復旧・復興担当日本政府代表、財団法人国際文化会館理事長

東京大学卒、ヴァージニア大学大学院修了。1957年国連入り。広報や軍縮担当の国連事務次長、カンボジアや旧ユーゴスラビア担当の事務総長特別代表を歴任。1997年末、人道問題担当事務次長を最後に退官。現在、(財)ジョイセフ（家族計画国際協力財団）会長、立命館大学大学院客員教授等。主な著書に『国際連合一軌跡と展望』（岩波新書）、『戦争と平和の谷間で—国境を超えた群像』（岩波書店）、『「独裁者」との交渉術』（集英社新書）など。

### ビデオメッセージ

中満 泉（なかみつ いずみ）

国連平和維持活動局 政策・評価・訓練部長

早稲田大学法学部卒業。米国ジョージタウン大学大学院修士課程修了(国際関係論)。国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) 法務官、人事政策担当官、旧ユーゴ・サラエボ、モスタル事務所長、旧ユーゴスラビア国連事務総長特別代表上級補佐官、UNHCR 副高等弁務官特別補佐官、国連本部事務総長室国連改革チームファースト・オフィサー、International IDEA(国際民主化支援機構)官房長、企画調整局長などを経て、2005年から2008年8月まで一橋大学 法学部、国際・公共政策大学院教授。同期間に国際協力機構 (JICA) 平和構築 客員専門員(シニア・アドバイザー)、外務省海外交流審議会委員などを兼任。2008年9月より現職。

## セッション1：国際平和協力における民軍協力と人材育成～ハイチの経験から～

### 1等陸尉 井出匡則（いで まさのり）

#### 陸上自衛隊小平学校語学教育部英語教官、元ハイチ国際平和協力隊連絡調整要員

平成12年4月、陸上自衛隊に一般幹部候補生として入隊。以降、第24普通科連隊、第5陸曹教育隊、第34普通科連隊で小銃小隊長、連隊本部第3科運用訓練幹部等を歴任

この間平成17年6月から翌1月までの約7ヶ月間、第4次イラク復興業務支援隊報道幹部としてイラク派遣に参加。その後、平成20年3月中央即応集団司令部防衛部において空地特殊作戦幹部（くうちとくしゅさくせんかんぶ）を経て、平成22年以降、小平学校語学教育部英語教官として現在勤務中。昨年の東日本大震災に伴う日米共同「トモダチ」作戦においては連絡幹部として米海軍強襲揚陸艇エッセクスに乗艦し、米海兵隊と共に気仙沼市大島等において災害派遣活動に従事し、その直後、内閣府国際平和協力本部事務局ハイチ連絡調整員として、平成23年5月21日から10月29日までの約5ヶ月間現地において勤務。

### 加藤亜季子（かとう あきこ）

#### 特定非営利活動法人「難民を助ける会」プログラム・コーディネーター

明治大学文学部史学地理学科卒、コロンビアハベリアーナ大学政治国際学部紛争解決専門課程修了、英国サセックス大学文化開発環境研究所社会開発学修士。民間企業、日本国際協力センター研究員、在コロンビア日本国大使館専門調査員を経て、2010年4月より現職。

### 長 有紀枝（おさ ゆきえ）

#### 特定非営利活動法人「難民を助ける会」理事長、立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科・同社会学部教授

認定NPO法人ジャパン・プラットフォーム(JPF)理事。福島県相馬市復興顧問会議委員。『外交』編集委員。1987年早稲田大学政治経済学部卒業、1990年同大学院政治学研究科修士課程修了。2007年東京大学大学院「人間の安全保障」プログラム博士課程修了（博士）。著書に『スレブレニツァ あるジェノサイドをめぐる考察』（2009年、東信堂）、共著に『グローバル化・変革主体・NGO - 世界におけるNGOの行動と理論』（2011年、新評論）、『国際緊急人道支援』（2008年、ナカニシヤ出版）、『国家建設における民軍関係 破綻国家再建の理論と実践をつなぐ』（2008年、国際書院）など。

### 佐藤美央（さとう みお）

#### 内閣府国際平和協力本部事務局 国際平和協力研究員

国際基督教大学教養学部卒、国際基督教大学大学院行政学修士。在ロサンゼルス総領事館専門調査員、日本国際問題研究所研究助手を経て、2001年にアソシエイト・エキスパートとして国際移住機関（IOM）へ。ケニア、ベルギー、インドネシア、ヨルダン（イラク事務所）に駐在。その間、2005年には、ジャパン・プラットフォーム事務局にて勤務。2011年5月より現職。

## セッション2：国連PKOへのより積極的な貢献～幹部人材養成の視点から～

長谷川祐弘（はせがわ すけひろ）

法政大学法学部国際政治学科教授、元東ティモール担当国連事務総長特別代表

国連大学客員教授。日本国際連合学会理事。東ティモール民主共和国大統領特別顧問、親善大使。地球憲章アジア太平洋委員会理事。2004年5月より2006年9月まで国連事務総長特別代表（東ティモール）。国連カンボジア平和維持活動・選挙監視団総括、国連ソマリア平和維持活動（政策企画部長）、ルワンダ・国連人道・開発調整官。専門は、平和構築論、国際機構論。1974年米国ワシントン大学で国際関係開発論博士号取得。

山下真理（やました まり）

国連広報センター所長、元国連ネパール・ミッション（UNMIN）政務室長

上智大学で法律学士号、フレッチャー法律外交大学院で法律外交学修士号を取得。1990年に事務総長の情報収集調査室の政務官補佐として国連に加わり、政治局選挙支援部、欧州安全保障協力機構（OSCE）・国連アルメニア合同活動の国連側調査官、国連東スラボニア、バラニャおよび西スレム暫定機構（UNTAES）の次席選挙事務官を務める。国連ニューヨーク本部にて政治局アフリカ局およびアジア局の政務官、国連ネパール・ミッション（UNMIN）の政務室長を歴任したのち、2010年7月より現職。

1等陸佐 石橋克伸（いしばし かつのぶ）

防衛省統合幕僚学校国際平和協力センター長

防衛大学校（30期）を卒業後、陸上自衛隊特科部隊に配属。1993年、国連カンボジア暫定統治機構に停戦監視要員として派遣されたほか、2005年、イラク復興業務支援隊クウェート分遣班長、2007年、ネパール国際平和協力隊第1次隊長として国際平和協力活動等に参加。また、2009年、インドネシア国際緊急援助隊統合連絡調整所、2010年、ハイチ国際緊急援助隊統合連絡調整所への派遣などを経験。2010年3月26日に、新編された統合幕僚学校国際平和協力センターの初代センター長に就任。

## セッション3：紛争経験国支援への取り組みと人材育成～選挙支援、ジェンダーを例に～

析林昇昌（とちばやし のりまさ）

内閣府国際平和協力本部事務局 国際平和協力研究員

中央大学総合政策学部卒 シンガポール国立大学大学院 公共政策修士

国連スーダンミッション選挙支援部 東エクアトリア州担当チームリーダー

国連東ティモール統合ミッション選挙支援ユニット マニユファヒ県担当チームリーダー

国連アチェ・ニアス復興調整官事務所 ローカルガバメントスペシャリスト

国連開発計画インドネシア事務所 「持続可能なビジネス育成」担当  
2011年5月より現職。

**与那嶺涼子（よなみね りょうこ）**

**内閣府国際平和協力本部事務局 国際平和協力研究員**

ジェンダー専門。創価大学卒。英国 York 大学「女性と開発と政権」修士

（財）おきなわ女性財団、名城大学、沖縄大学講師、沖縄県男女共同参画審議員等を経て、JICA 青年海外協力隊として2年間（2008年～2010年）、ネパールの女性の人権団体（WHR）にて紛争被害の IDP 寡婦のリハビリ支援のプロジェクト責任者および「移行期正義とジェンダーネットワーク」窓口を担当。沖縄平和協力センター（OPAC）客員研究員を経て2010年5月より現職。事務局ではジェンダーと平和構築・PKO 関連の研究とともに国内外の PKO 要員へのジェンダー関連研修の講師を担当。

**横田洋三（よこた ようぞう）**

**財団法人人権教育啓発推進センター理事長**

1979年国際基督教大学教養学部教授、1991年国連人権委員会ミャンマー担当特別報告者、1995年東京大学大学院法学政治学研究科・法学部教授、2000年国連人権促進保護小委員会委員、2001年国際連合大学学長特別顧問、2003年国際労働機関（ILO）条約勧告適用専門家委員会委員、2004年中央大学法科大学院教授、2006年財団法人人権教育啓発推進センター理事長、2010年国際労働機関（ILO）条約勧告適用専門家委員会委員長、法務省特別顧問、日本国際連合学会理事長、国際連合大学高等研究所客員教授等を歴任。主な著書として、『二〇世紀と国際機構』国際関係基礎研究所、『日本の国際法事例研究（1）～（5）』（共著）慶応義塾大学出版会、『新国際機構論』（共著）国際書院、『国連再生のシナリオ』（共訳）国際書院、『国連の可能性と限界』（共訳）国際書院、『国際法入門』（共著）有斐閣、『国際組織法』（共著）有斐閣、『国際機構の法構造』国際書院、『日本の人権／世界の人権』不磨書房、『国際人権入門』（共著）法律文化社、『国際社会と法 — 国際法・国際人権法・国際経済法』（共著）有斐閣ほか。